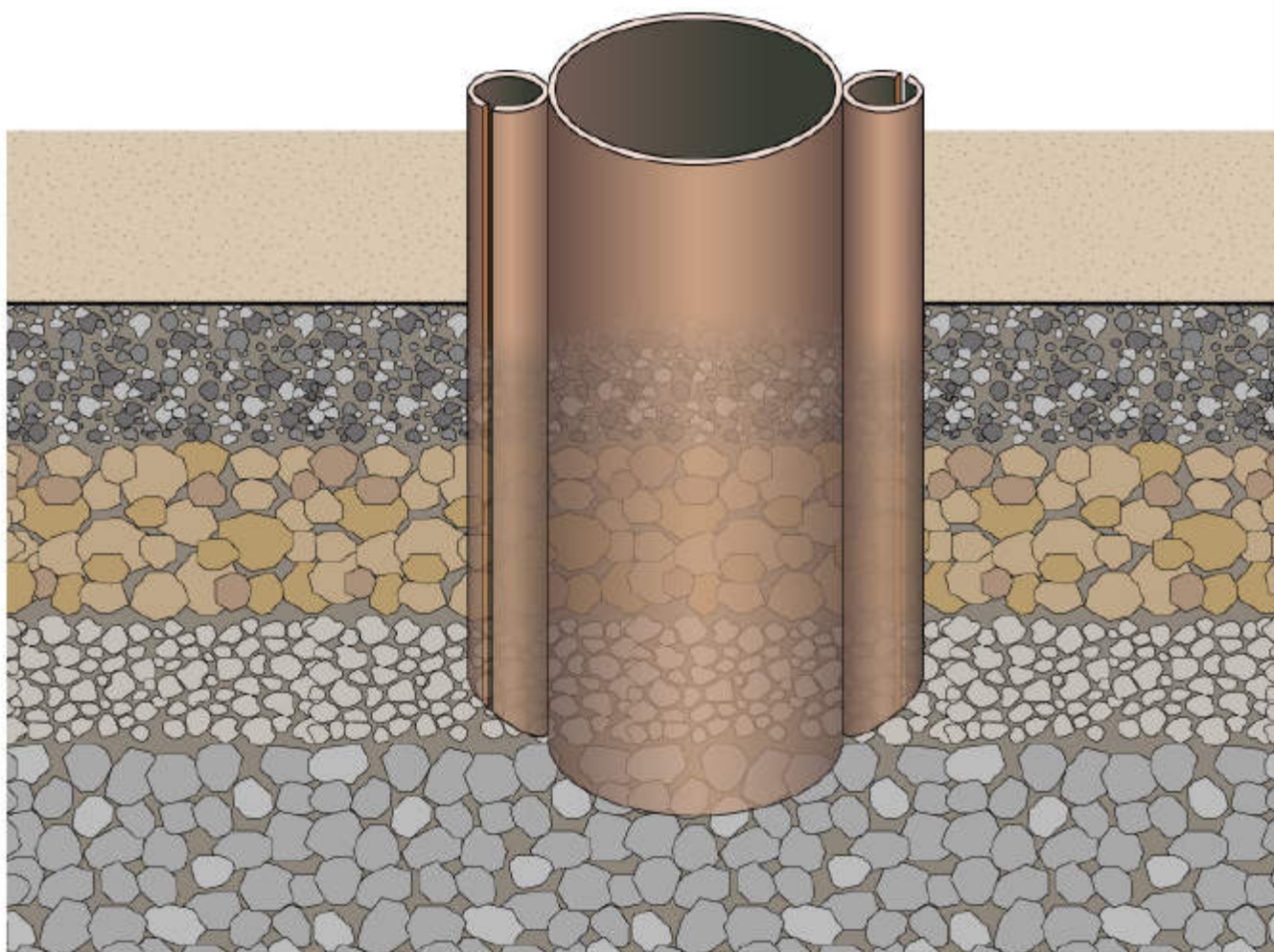


「継手部からの**漏水のない井筒基礎**を目指したい」という
打設業者様の要望に応えるために開発しました。

鋼管矢板継ぎ手部充填材 パイルセイバー

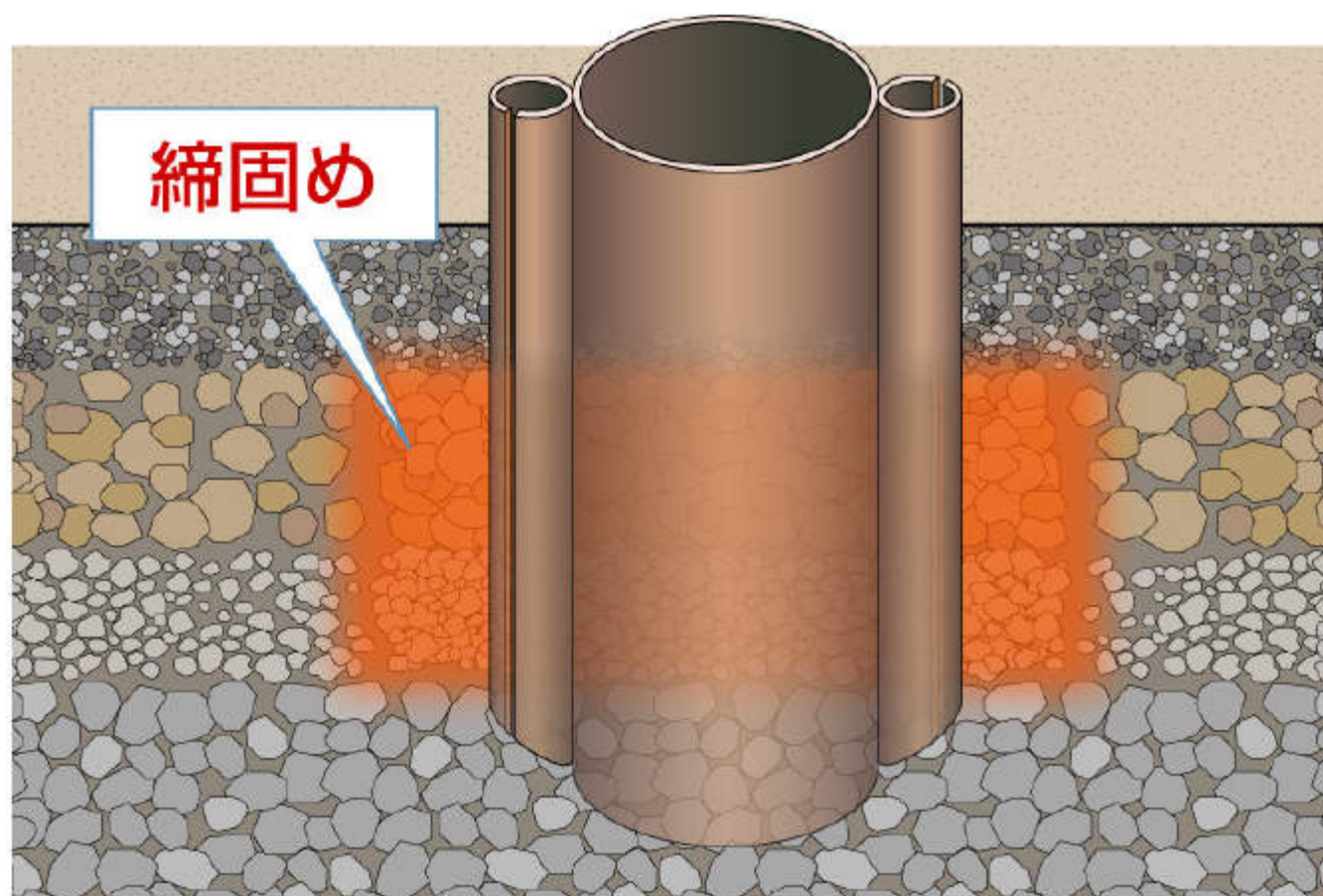


打設時のトラブルを防ぎ、
**品質の良い井筒工事を
実現**する製品です。



パイルセイバーを使わない場合

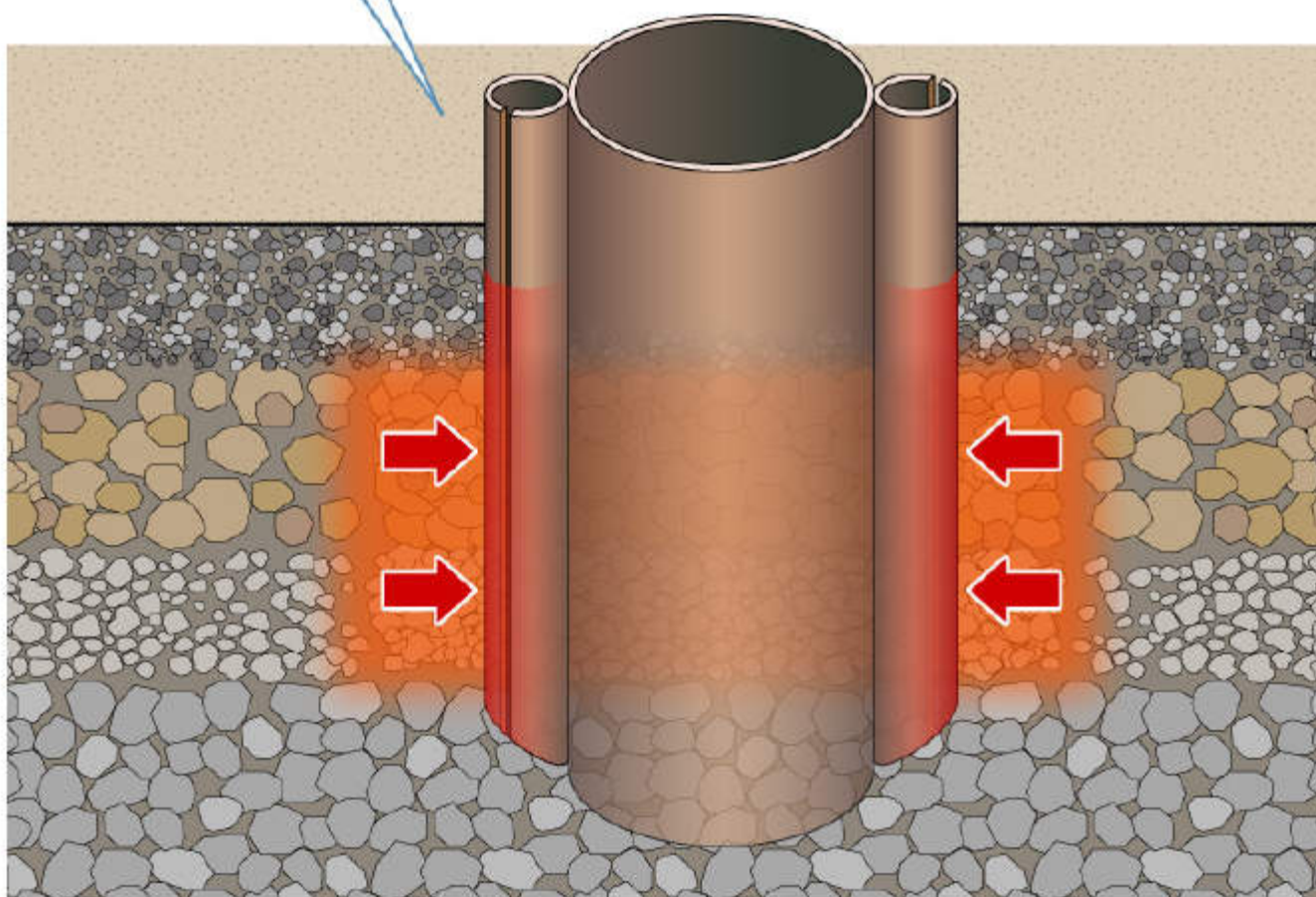
打設に伴う振動で、
地盤の空隙が詰まる
「締固め」が継手部の
中と外で起こります。



パイルセイバーを使わない場合

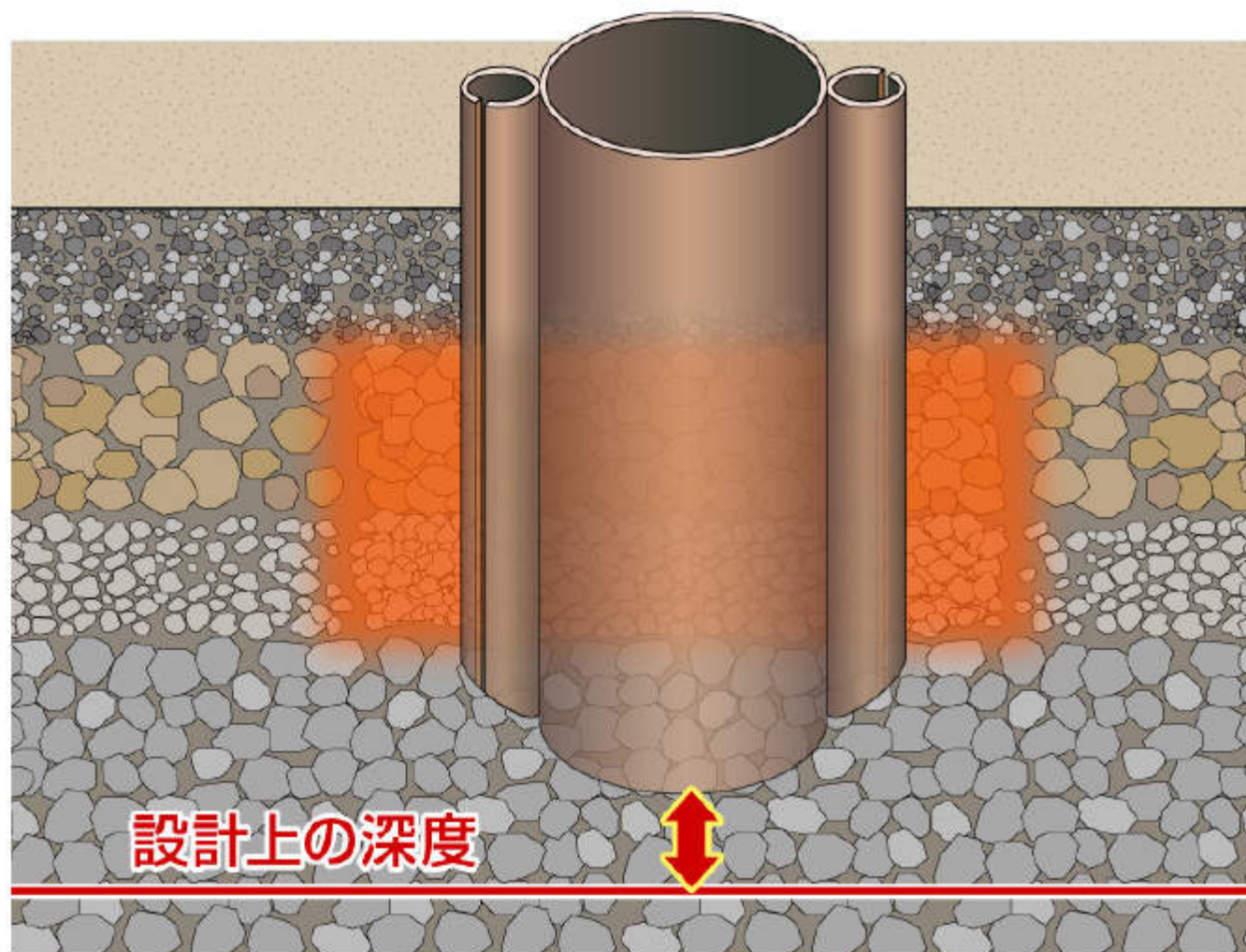
打設に伴う振動で、
地盤の空隙が詰まる
「締固め」が起こります。

高止まり



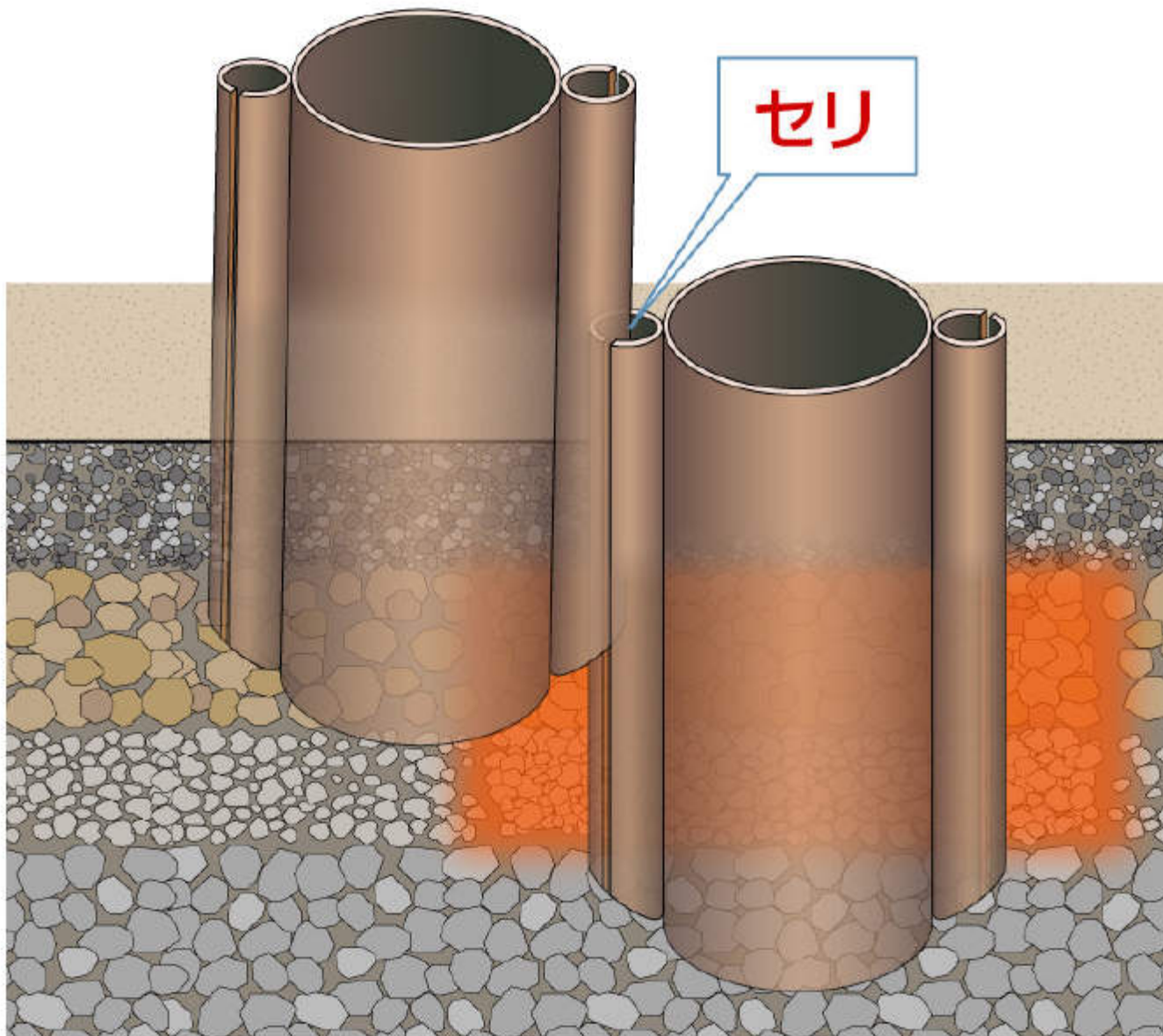
パイルセイバーを使わない場合

締固めが起こると、
継手部内外の摩擦抵抗が
増え、「高止まり」が起こり
ます。



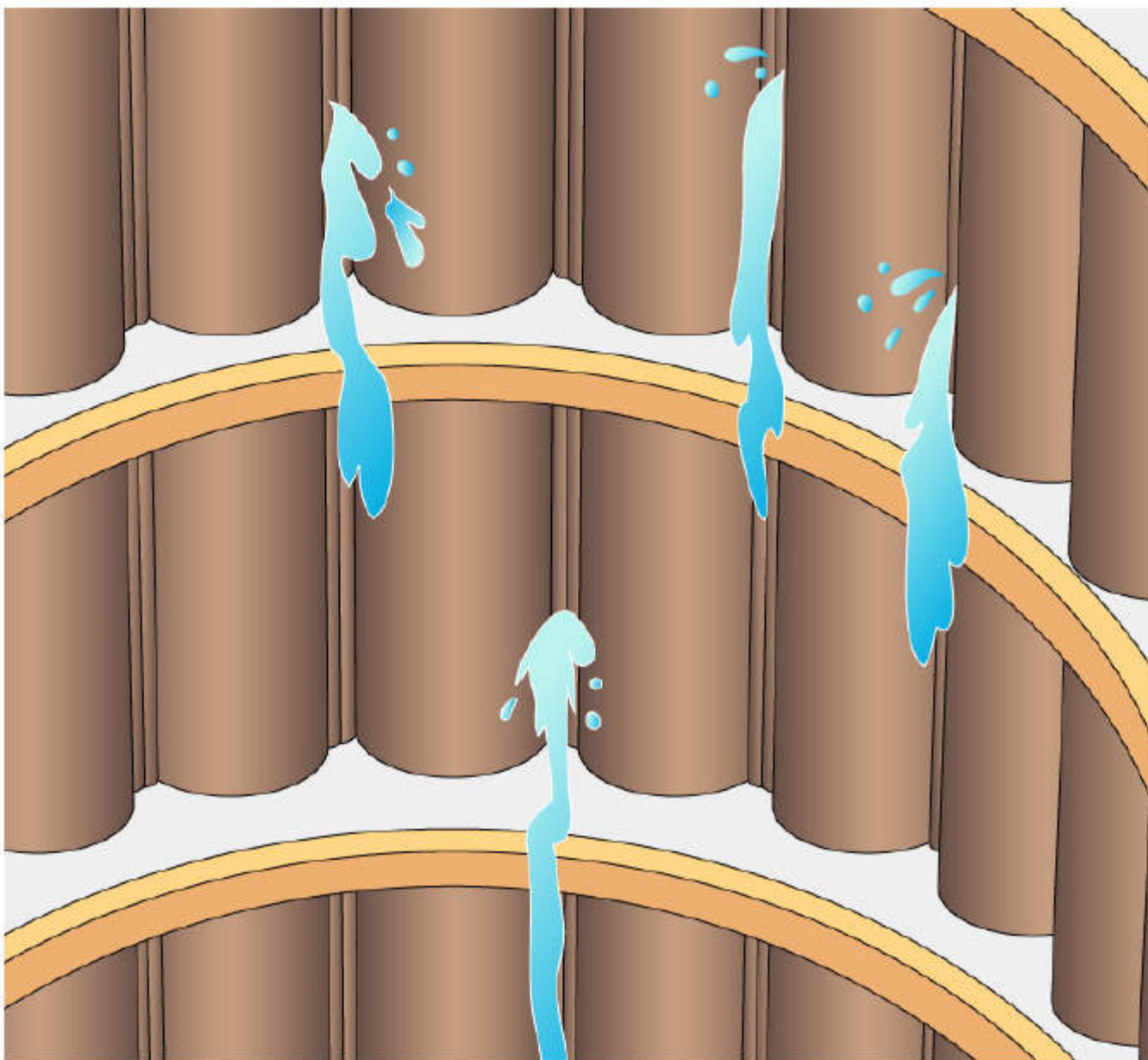
パイルセイバーを使わない場合

「高止まり」が起これると、
鋼管矢板を設計上の
深度まで打ち込むことが
できなくなります。



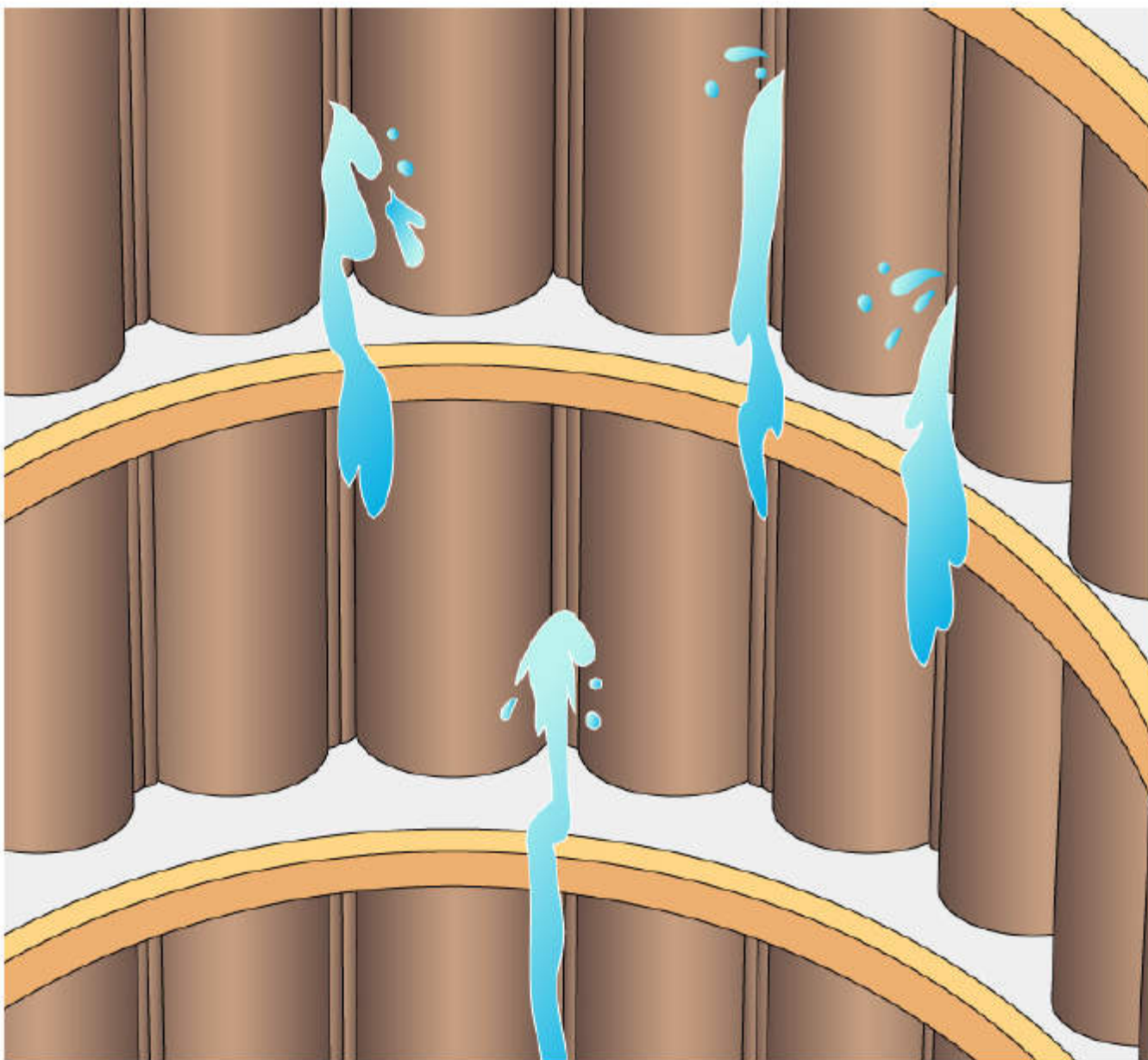
パイルセイバーを使わない場合

翌日の後行杭の
継手部がズれてしまう、
「セリ」が起こります。



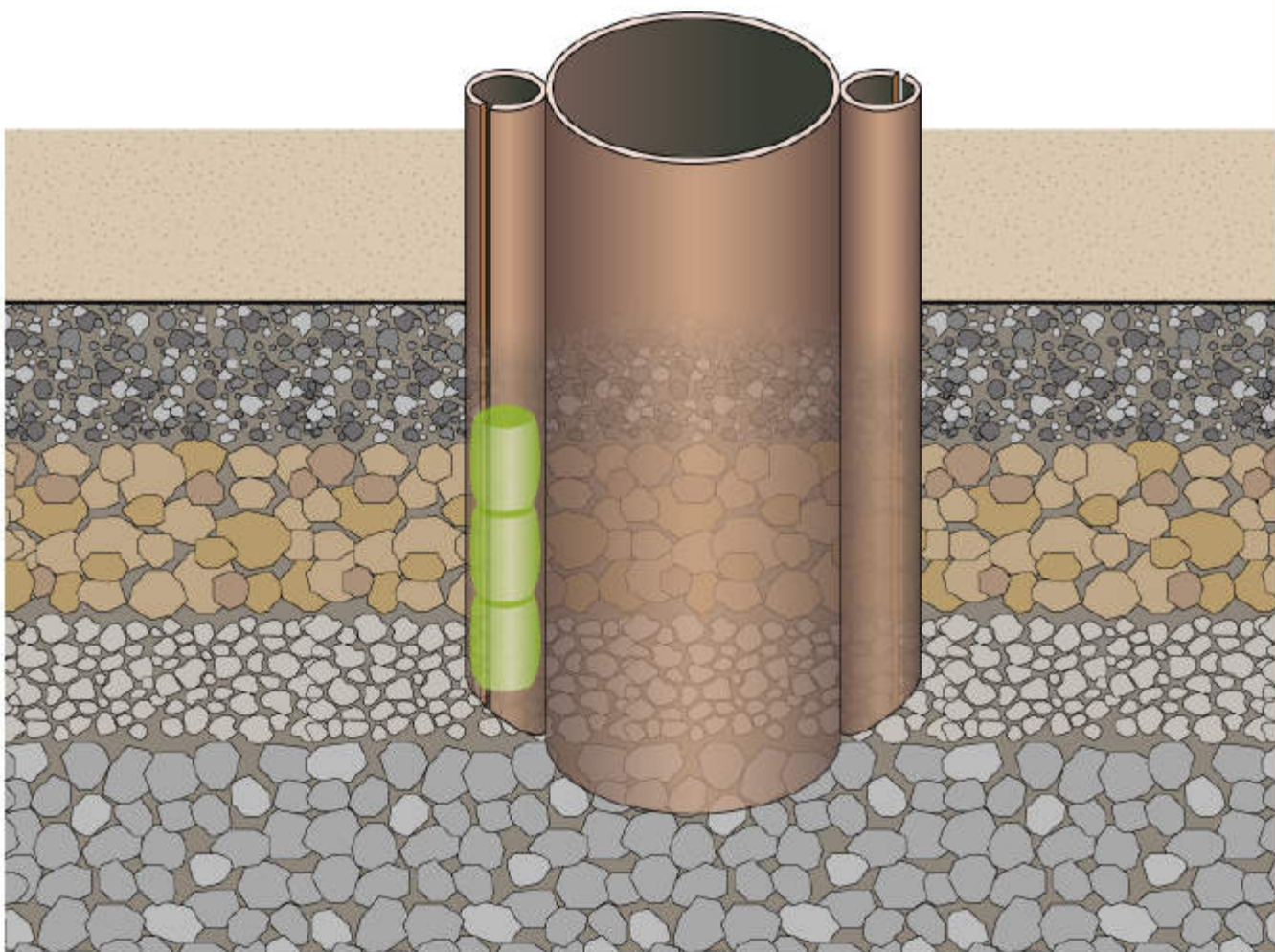
パイルセイバーを使わない場合

次工程の排土・
止水モルタル充填工が
不完全となります。



パイルセイバーを使わない場合

継手部から**漏水**が起こり、
工事を中断して追加の
止水工事が必要となります。

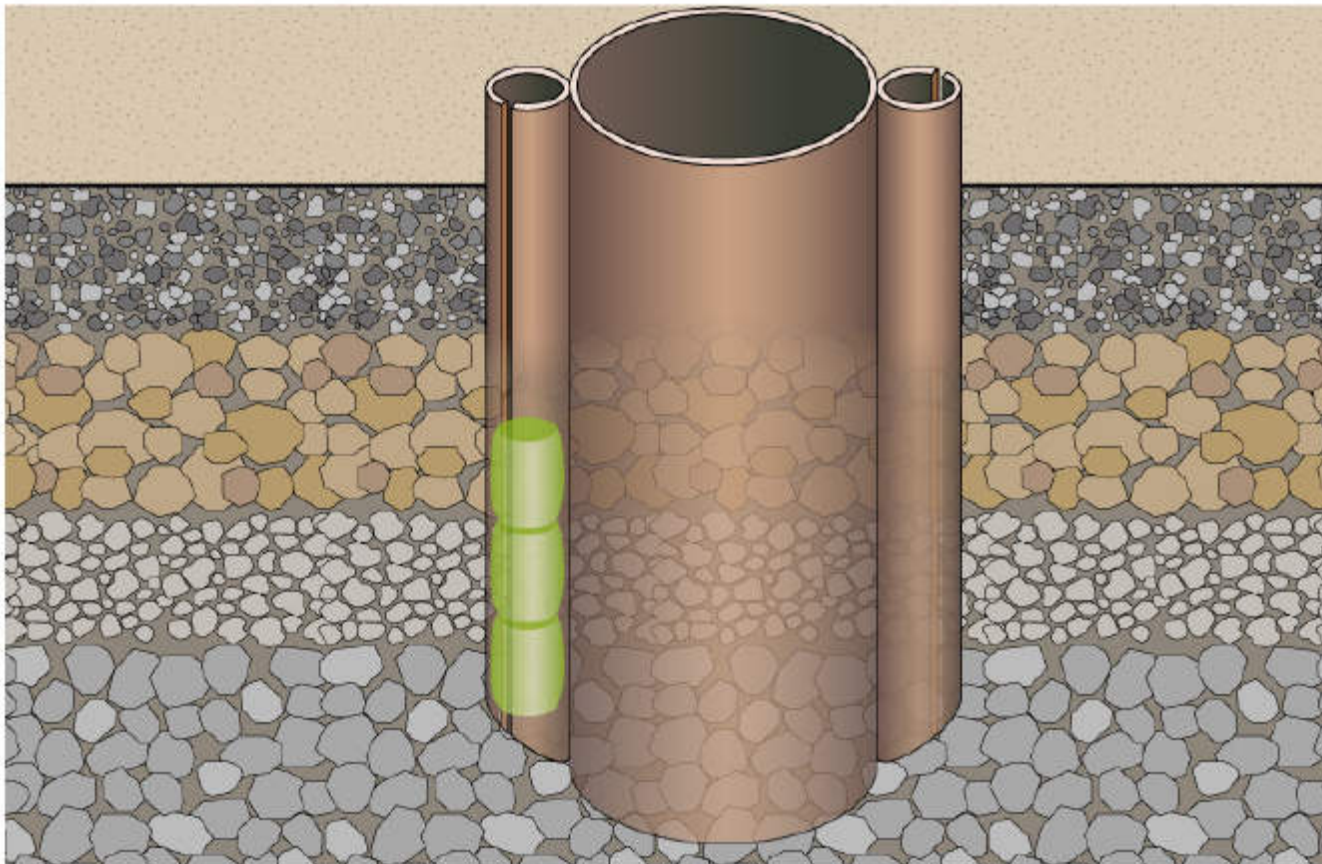


パイルセイバーを使った場合

パイルセイバーを
継手部分に充填します。
目安は、対杭長**30%**程度。

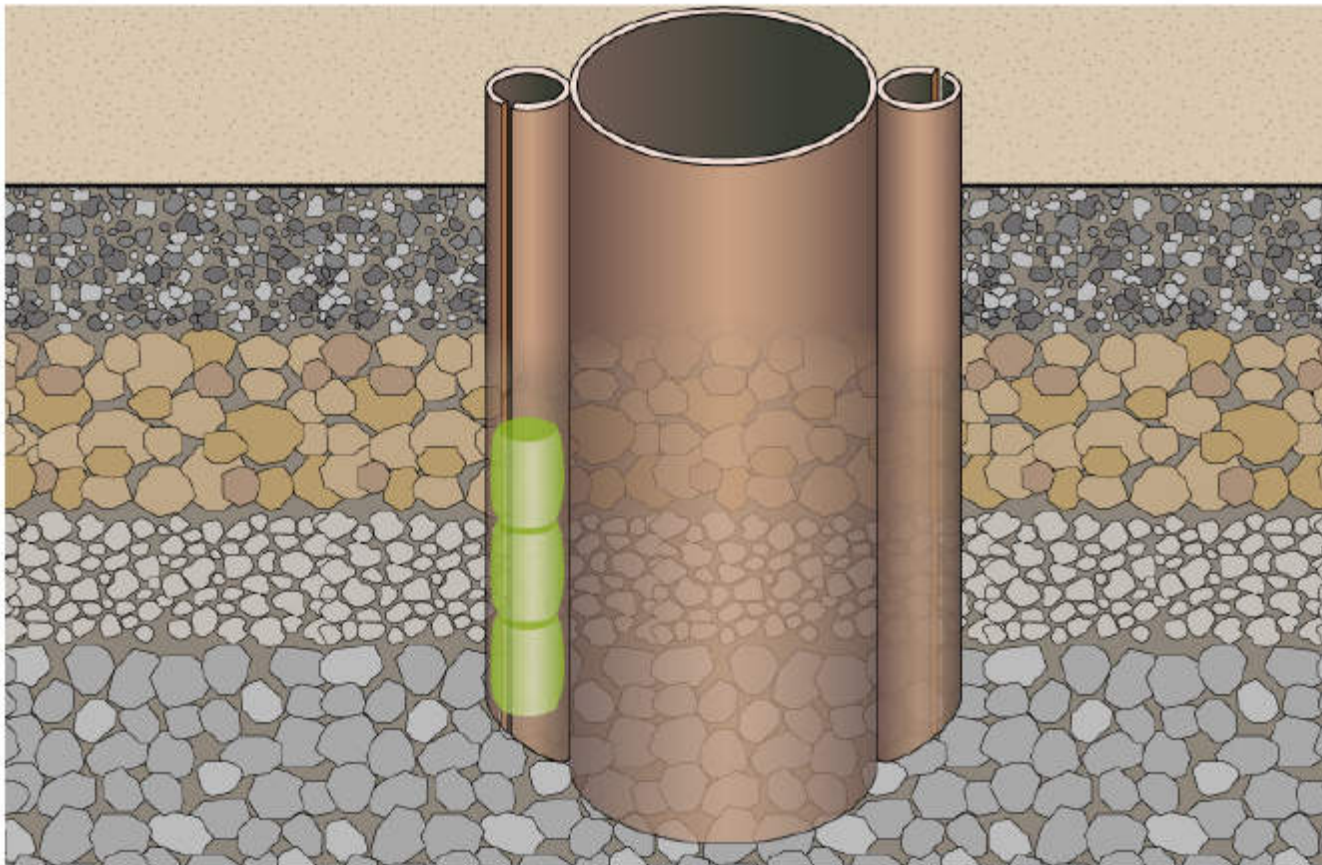
パイルセイバーを使った場合

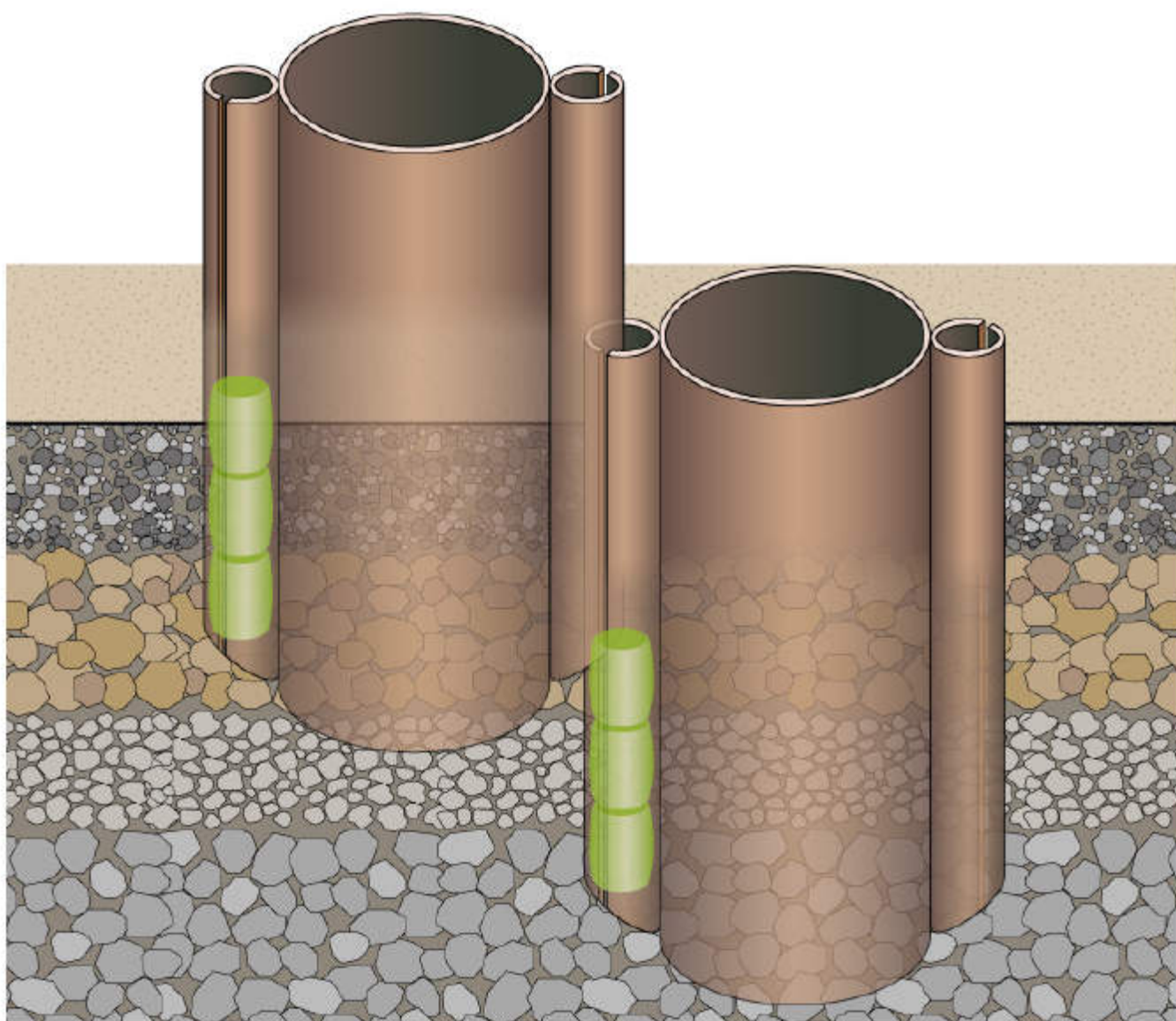
パイルセイバーが充填
されているので、
継手部の内部では
締固めが起こりません。



パイルセイバーを使った場合

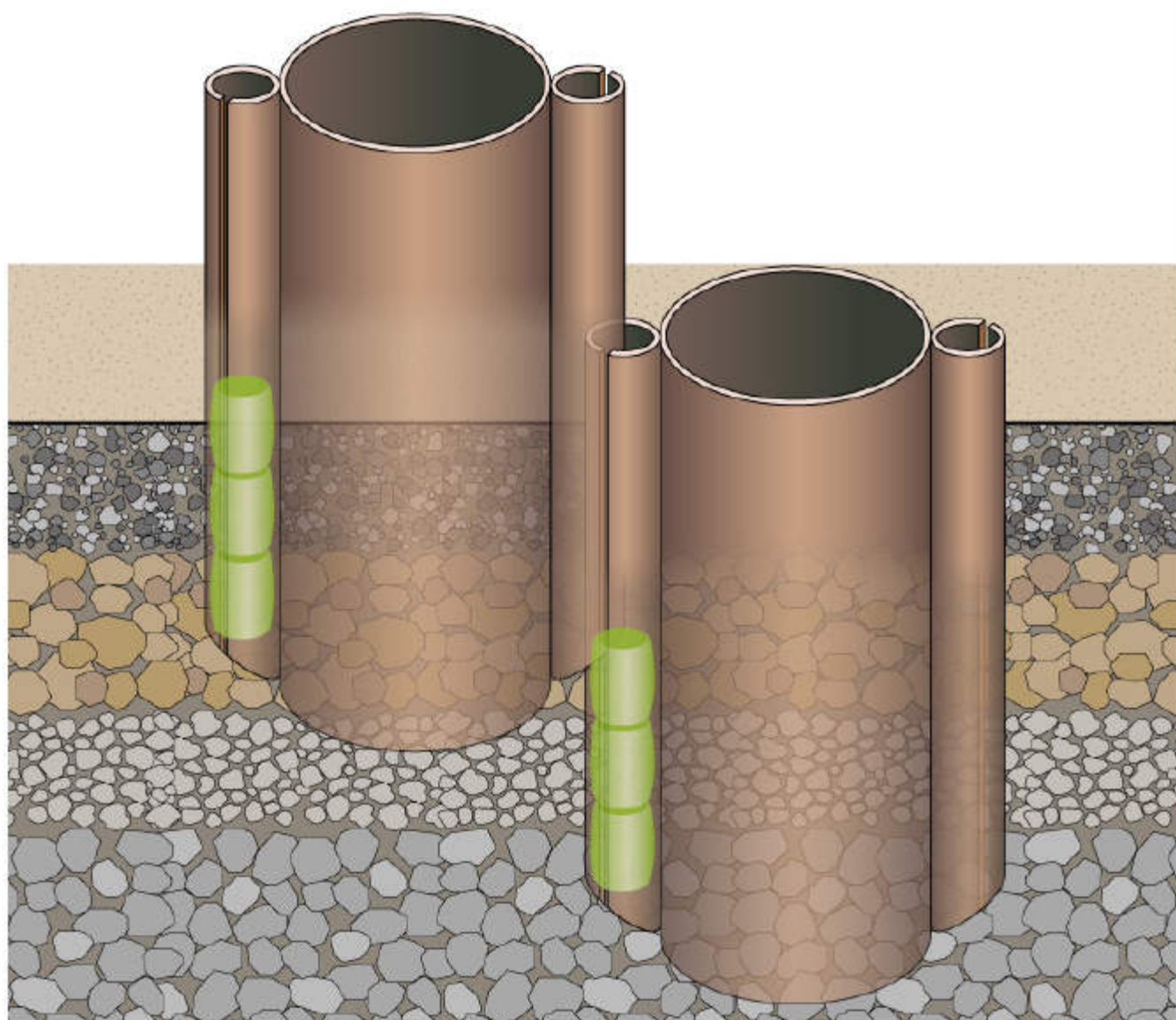
高止まり現象を防止します。





パイルセイバーを使った場合

翌日の継手は、
前日のパイルセイバーを
切り裂いてかん合します。

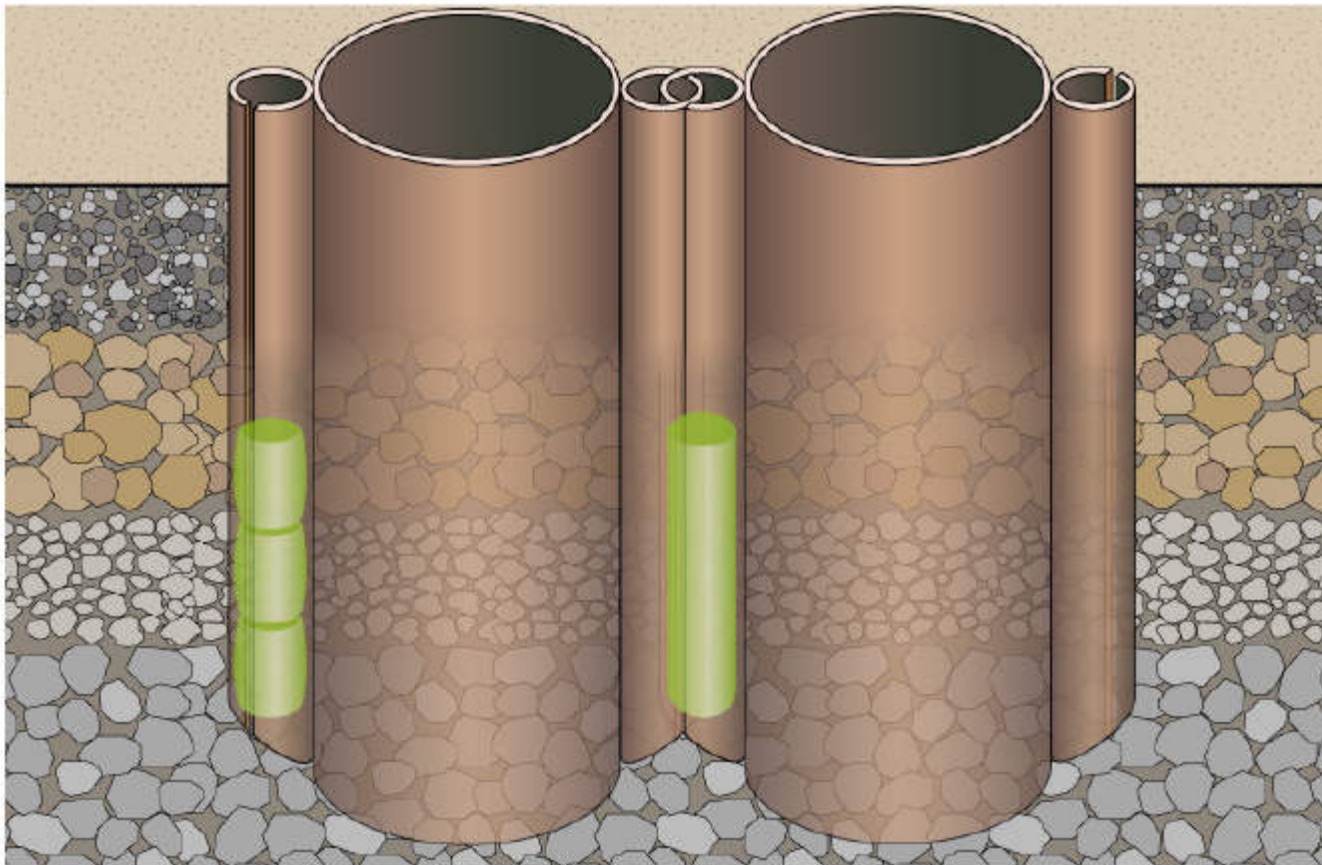


パイルセイバーを使った場合

セリの起こらない
精度の良い打設と
なります。

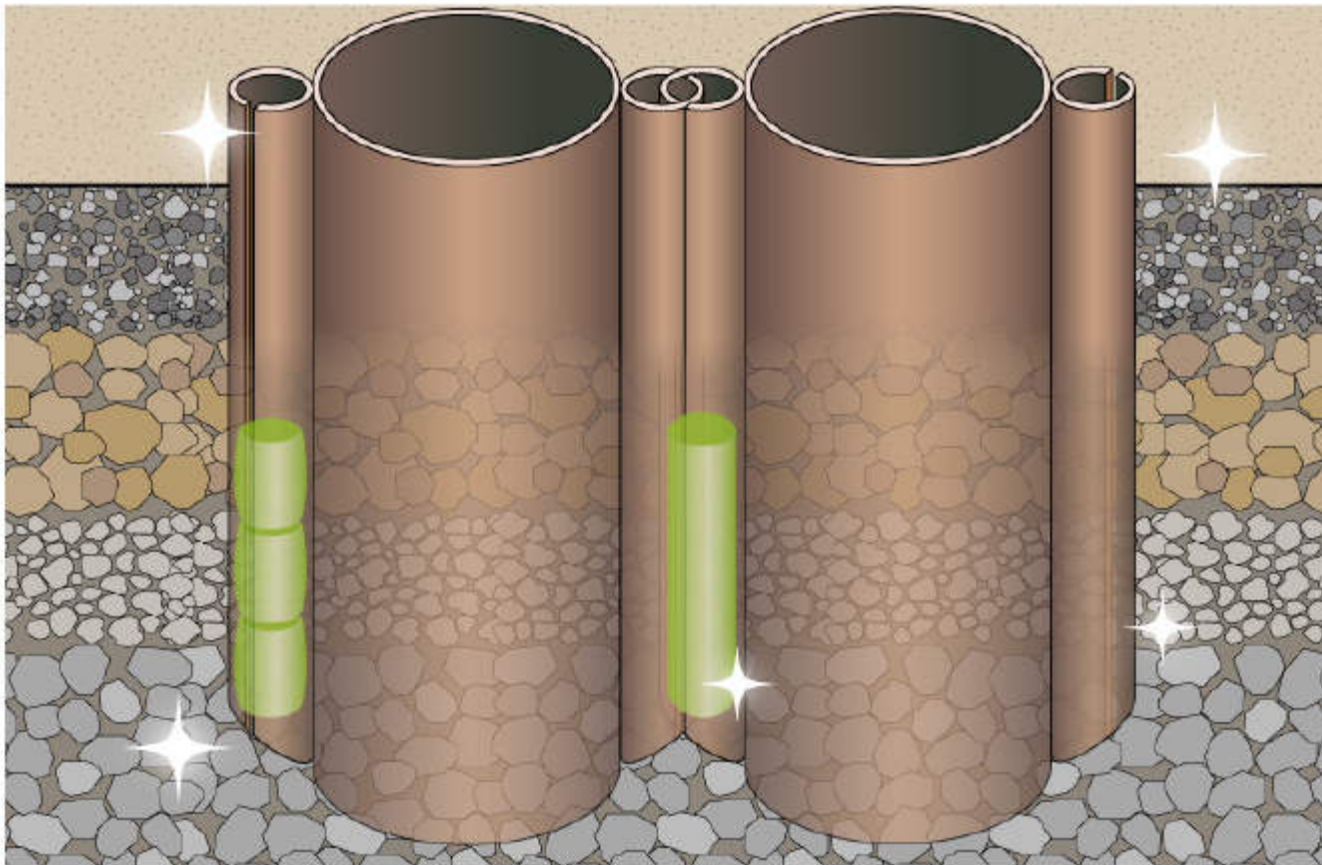
パイルセ이버を使った場合

排土が順調に進むので
モルタルを密実に充填
できます。



パイルセ이버を使った場合

継手部から
漏水がないので
速やかに次工程に進めます。





礫層の厚い現場でしたが、
品質の良い井筒基礎を実現した採用現場です。